

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22035	事業名	森林経営管理事業			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他( )					
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予 算 科 目	会計	01:一般会計
		基本施策	09:自然との共生			款	06:農林水産業費
		施策の方向	02:森林・里山・農地の保全			項	01:農林水産業費
重点プロジェクト	-		目	06:林業振興費			
事業期間	R 1 年度	～	R - 年度	主な根拠法令等	森林経営管理法		

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	産業環境部
課	農林振興課 農林政策G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	<p>森林所有者による適切な経営管理が困難な森林の増加などを背景に、これらの森林について、市町村が主体となり経営管理の確保を図る森林経営管理法が施行された。これに伴い創設された森林環境譲与税を活用し、適切な森林管理を進めていく必要がある。</p>	森林所有者	<p>森林経営管理法に基づいた経営管理(経営に適した森林は意欲と能力のある事業者、経営に適さない森林は市が経営管理)が行われている森林づくりに取り組み、林業の持続的発展と森林の持つ多面的機能の維持発揮を目指す。</p>	<p>事業の対象となる森林の抽出や情報の整理を行うとともに、所有者に対し経営管理の意向について調査する。また、公的管理の対象となる森林については、境界明確化や森林調査、集積計画策定を行うとともに、森林整備を行う。さらに、航空レーザー測量データを活用し、林地台帳を整理する。</p>

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○対象森林の抽出・意向調査 ○境界明確化・森林調査・集積計画作成 ○森林整備 ○地番界整理	○対象森林の抽出・意向調査 ○境界明確化・森林調査・集積計画作成 ○森林整備 ○地番界整理	○対象森林の抽出・意向調査 ○境界明確化・森林調査・集積計画作成 ○森林整備 ○地番界整理	○対象森林の抽出・意向調査 ○境界明確化・森林調査・集積計画作成 ○森林整備 ○地番界整理
	活動実績 (計画通り実施できたか)	坂下地区・加太北在家・加太中在家・加太板屋の地番界整理を実施するとともに、加太北在家・加太中在家地区で意向調査を実施した。 また、坂下・加太地区にて45.32haの境界明確化を実施し、坂下地区にて集積計画59.56ha作成した。 さらに、関町沓掛地内にて15.95haの森林整備を実施した。			
計画額	事業費	50,400千円	27,054千円	61,900千円	45,700千円
		国・県支出金			
		地方債			
		その他	13,200千円	13,000千円	24,260千円
	一般財源	37,200千円	14,054千円	37,640千円	45,700千円
決算額	事業費	26,665千円			
		国・県支出金			
		地方債			
		その他	13,000千円		
一般財源	13,665千円				
①期間内事業費(R4-7)		203,700千円	②期間外事業費(R8-)	-	①+②総事業費

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	27,054千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	集積計画の同意取得面積	活動	ha	計画値	30	30	30	30
				実績値	59.56			
森林整備面積	経営管理権を得た森林の間伐面積 (意欲と能力のある事業者への再委託を含む)	成果	ha	計画値	60	70	30	30
				実績値	15.95			
				計画値				
				実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
B	森林経営管理法に基づく本事業について、当該年度の成果指標は達成できなかったものの最終目標である森林整備を実施することで森林の持つ多面的機能の維持・発揮に寄与することができた。また、新たに地番界整理を実施することで業務の効率化を図るとともに、加太地区での意向調査を実施し、活動指標を大きく上回る成果が得られ、翌年度以降の取り組み実施への準備が整った。
まずは成果を得た	

事業の対象	事業の目的
森林所有者	森林経営管理法に基づいた経営管理(経営に適した森林は意欲と能力のある事業者、経営に適さない森林は市が経営管理)が行われている森林づくりに取り組み、林業の持続的発展と森林の持つ多面的機能の維持発揮を目指す。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	当初予定していた計画内容については一通り実施できたが一部事業内容において予定していた数量を実施することができなかった。 数量についても当初計画どおりに行えるよう余裕をもった事業実施区域の確保を行う必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性
事業の展開 (A)	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容
	令和5年度で対応する(した)もの 新たに地番界整理を実施することで、実施区域等の確認を容易にし事務の効率化を図っていく。
	令和6年度以降で対応するもの これまでは事業実施計画に余裕がなく、森林所有者から集積計画を取得した同年度に森林整備を実施していたが、集積計画を取得した翌年度に森林整備を実施できるよう余裕をもった事業実施に努める。

【履歴】	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B			
事業展開	継続(現状維持)			

1次評価者	産業環境部 農林振興課 農林政策GL 鳥喰 さとみ
最終評価者	産業環境部 農林振興課長 水越 洋光